

「むしの家」を学校に広げよう

活動地域  北海道

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

「むしの家」製作維持管理

4棟

参加児童・教職員

150人

今年度計画の達成度

100%

全体計画の達成度

90%



春 「むしの家」に木を入れる

課題

これまで学校での「虫」の学びは、教科の中での学習であり、学校周辺に来る教科書の中の虫の学習が中心で、写真や標本で終わることも多い。虫に触れない子も多い。

目標

「虫のいえ」を設置することにより、児童のすぐそばの環境にまだたくさんの生き物がいることを知る。まだまだ残っている自然を虫を通して体感し、それを守る心を育てたい。

活動内容と成果

「休み時間になると網を持って校庭に駆け出すんですよ」、担任の先生の言葉である。町内4校の校庭に「虫のいえ」を設置し、春に子どもたちと一緒に木を入れ虫が集まる環境を作った。このことによって関心が高まり、秋の木出しの時はもちろん、普段でもたくさんの虫を観察・採集してくれた。子どもたちの積極的な取り組みで、採集数も多く、その中には、遠軽町で初めて採集した虫や北海道では珍しい虫もいた。採集した昆虫を標本にして学校に展示した。事前事後の調査から児童の虫への関心の高まりや、虫に触れる子、飼育する子が増加したことがわかった。



秋 「むしの家」から木を出し虫を採集する

全助成期間の活動を振り返って

地域の小規模校から、市街地の中規模校に「むしの家」を設置して取り組んだ。そこで多くの種類・数の虫を採集することができた。住宅地の学校ではあるが、周りには、まだまだたくさんの種類の虫が生息し自然が残っていることがわかった。活動の場を学校にしたことで、取り組んだ学年の児童だけではなく、他の学年や教員、保護者にも活動を知らせることができた。また、入れた木の経年変化・気候によって虫の種類や数の変化もみられた。



困りつづめた虫 標本で活動を振り返る

〒099-0203
北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町3番地
電話：0158-47-3732
E-mail：asari39@gmail.com
HP：https://www.maru-mushi.com



今後の展望

学校をメインの活動場所にしたことにより、取り組んだ学校はもちろん他の学校からも昆虫の学習についての問い合わせや、移動昆虫教室の依頼があった。また、報道や学校、教員のネットワークにより町内だけでなく町外や他管内の学校や社会教育施設からの依頼もあった。今後は、学校等との連携を深め昆虫学習の支援や移動昆虫教室やガイド活動を強化していきたい。児童の身のまわりの虫の状況から環境保全についての理解を深めたい。

